

婦人科診療相互援助システム (OGCS) の活動状況について

竹 村 秀 雄

大阪における産科救急体制は62年4月から産婦人科診療相互援助システム (OGCS) として活動を開始した。このシステムは産科救急のみならず婦人科の救急や一般患者を含めた患者紹介をシステム化しようとするもので、受入病院としては34病院が参加している。

今回は大阪産婦人科医会に届いたOGCS患者紹介用紙ならびに返信用紙を昭和63年1月28日の時点で集計した結果を報告する。

紹介用紙 (診療情報提供書) はピンク色の4枚複写で紹介元保存用、紹介先保存用、紹介先返

表1 OGCS中間報告 (昭和62年4～63年1月)

		紹 介	報 告
産 科	救 急	186	189
	一 般	201	182
	小 計	(387)	(371)
婦 人 科	救 急	13	14
	一 般	83	75
	小 計	(96)	(89)
総 計		483*	460**

*他に不明3件
**他に不明3件

表2 OGCS患者紹介件数 (昭和62年4月～63年1月)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	63 1	計	
産 科	救急	0	17	17	19	26	25	24	19	28	11	186
	一般	3	16	31	26	24	31	31	19	23	5	201
	小計	3	33	48	45	49	49	55	38	51	16	387
婦人科	救急	0	3	2	4	0	2	1	0	1	0	13
	一般	2	3	8	20	7	13	14	8	6	2	83
	小計	2	6	10	24	7	15	15	8	7	2	96
総 計	5	39	58	69	56	64	70	46	58	18	483	

他に不明3件

表3 OGCS患者紹介件数（昭和62年4月～63年1月）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	63 1	計	
産科	救急	2	23	23	23	28	30	23	11	23	3	189
	一般	5	11	28	25	18	9	19	21	41	5	182
	小計	7	34	51	48	46	39	42	32	64	8	371
婦人科	救急	0	1	2	4	2	3	0	0	2	0	14
	一般	3	3	9	18	7	10	6	7	8	3	74
	小計	3	4	11	22	9	13	6	7	10	3	88
総計	10	38	62	70	55	52	48	39	74	11	459	

他に不明3件

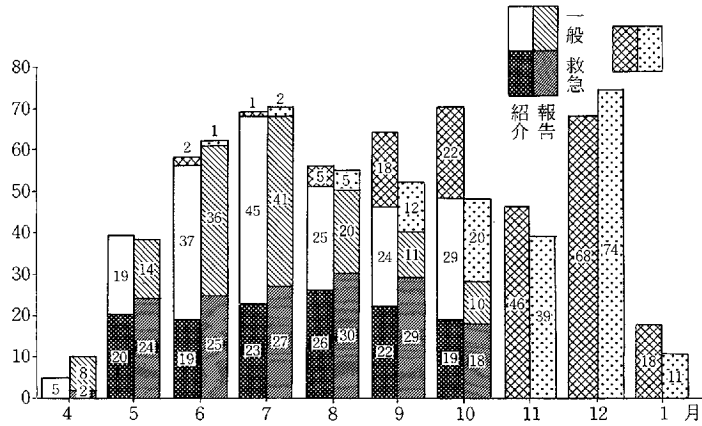


図1 OGCS患者紹介・報告件(S62.4～10)(S62.11～S63.1.28現在)

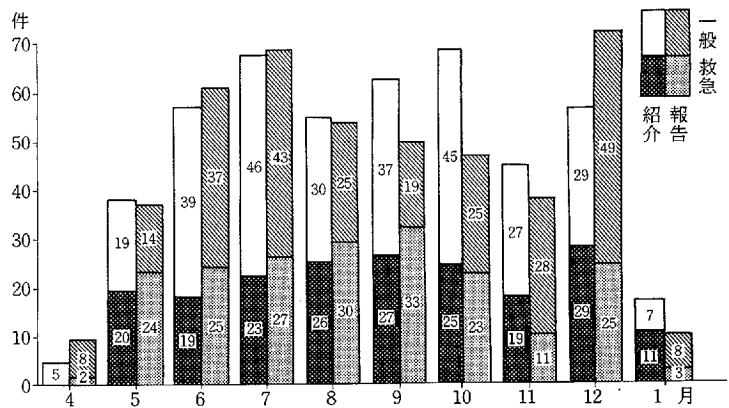


図2 OGCS患者紹介・報告件(S62.4～63.1.28)

表4 OGCS患者紹介・報告状況（北部ゾーン8病院中）

	産科		婦人科					
	救急	一般	救急	一般				
	紹介	報告	紹介	報告				
N-1	3	4	0	0	2	1	3	0
N-2	13	20	18	40	0	0	0	3
N-3	1	1	1	1	2	2	3	3
N-4	2	0	0	0	1	0	1	0
N-5	2	2	0	0	0	0	1	0
N-6	13	31	3	23	0	3	1	14
計	34	58	22	64	5	6	9	20

(S. 62. 4~63. 1)

表5 OGCS患者紹介・報告状況（中部・東部ゾーン19病院中）

	産科		婦人科					
	救急	一般	救急	一般				
	紹介	報告	紹介	報告				
M-1	0	0	1	0	0	0	1	0
M-2	1	1	5	1	0	0	3	0
M-3	1	1	0	0	0	0	2	0
M-4	13	17	99	60	1	1	10	4
M-5	3	3	5	4	0	0	11	12
M-6	24	28	2	0	0	0	0	0
M-7	1	2	4	4	0	0	0	0
M-8	3	3	4	2	0	0	4	6
M-9	3	8	1	4	0	1	0	1
M-10	2	0	0	0	2	0	0	0
M-11	0	0	0	1	0	1	11	13
M-12	2	1	4	1	1	0	5	2
M-13	3	1	2	0	1	2	8	3
M-14	10	9	2	0	1	1	0	0
M-15	3	1	1	0	1	0	8	1
M-16	2	3	0	0	0	0	2	4
M-17	0	0	0	0	0	0	1	0
M-18	0	0	0	5	0	0	0	6
計	71	78	130	82	7	6	66	52

(S. 62.4~63.1)

表 6 OGCS患者紹介・報告状況（南部ゾーン7病院中）

	産 科		婦 人 科	
	救 急	一 般	救 急	一 般
	紹介 報告	紹介 報告	紹介 報告	紹介 報告
S-1	76 : 51	29 : 36	0 : 0	0 : 0
S-2	0 : 0	4 : 0	0 : 0	1 : 1
S-3	1 : 1	0 : 0	0 : 1	0 : 1
計	77 : 52	33 : 36	0 : 1	1 : 1

(62.4~63.1)

信用、集計用となっており、黄色の返信用紙は3枚複写で紹介先保存用、紹介先返信用、集計用となっている。

昭和62年4月から63年1月までの紹介件数は483件でその内訳は産科の救急186件一般201件、婦人科の救急13件一般83件となっている。これに対して紹介先医療機関から紹介元医療機関への返信件数は460件で産科救急189件一般182、婦人科救急14件一般75件であった。

月別に紹介件数をみると4月5件、5月39件、6月58件、7月69件と次第に増加しその後は60~70件を維持している。昭和54年に大阪府医師会と産婦人科医会とで協力して行った実態調査によると大阪では毎日6件（月間180件）程度の搬送を要する産科救急患者があると推定され、このシステムが十分利用されるまでには今後の会員へのPRが必要であると思われる。なお昨年10月に集計した結果（図1）と今回の集計結果（図2）を見比べると紹介、返信用紙とも産婦人科医会に送り届けられるのには4~5ヶ月かかっていることが分かった。

OGCS参加病院の救急患者受入れ状況を見ると、北部ゾーンでは2箇所、中部では3箇所、南部では1箇所と合計6箇所の病院が多くの救急患者を収容している。先に述べた調査にもとずき昭和55年に産婦人科医会から大阪府医師会長に提出した要望書には大阪府では少なくとも6箇所の産科救急施設が必要であるとしており、今回の集計結果はこれを裏付けるものであった。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



大阪における産科救急体制は62年4月から産婦人科診療相互援助システム(OGCS)として活動を開始した。このシステムは産科救急のみならず婦人科の救急や一般患者を含めた患者紹介をシステム化しようとするもので、受入病院としては34病院が参加している。

今回は大阪産婦人科医会に届いたOGCS患者紹介用紙ならびに返信用紙を昭和63年1月28日の時点で集計した結果を報告する。